

主催：国立市

伝 原 く
承 爆 に
者 ・ た
講 東 ち
話 京
大
空
襲
体
験



絵本「またあしたあそぼうね」(文・山下ますみ、
絵・ささきみお、出版・新日本出版社)より

1945年、日本で最後の戦争が終わりました。あれから80年以上が経ちましたが、日本は戦争をしていません。戦争を知らない人が増えた今だからこそ、小学生や中学生の時に原爆や空襲を体験した方から直接聞いた『あの日のこと』をお話します。



▶開催日時等は裏面をご参照ください。

原爆、空襲体験を受け継いだ30代～80代の伝承者がお話します。

申し込み・問い合わせ先 ★お住まいの地域・年齢問わず、どなたでも参加可！

国立市 政策経営部 市長室 平和・人権・ダイバーシティ推進係

電話:042-576-2111(内線229・256)/ファクス:042-576-0264

メール:sec_diversity@city.kunitachi.lg.jp



国立市は平和首長会議
国内加盟都市です。

聴ける講話は、この方々の戦争体験と平和への思い。

※くにたち原爆・東京大空襲体験伝承者講話は、**体験者本人ではなく、体験者の体験と思いを語り継ぐ「伝承者」による講話**です。



8/6
広島で
被爆

ひらただみち
平田忠道さんの体験
1930年（昭和5年）生／2019年逝去

1945年4月、東京都麻布から父親が転勤していた広島へ、母親と妹、2人の弟とともに転居。そのわずか4か月後、中学3年生だった平田さんは、広島市北部にある可部町での勤労働員の作業中に被爆。



広島原爆

撮影/米軍 所蔵/米国立公文書館 提供/広島平和記念資料館



8/9
長崎で
被爆

かつらしげゆき
桂茂之さんの体験
1930年（昭和5年）生／2017年逝去

当時長崎中学校3年生だった桂さんは、学校で製造した部品を大八車に乗せて、同級生4人1組で三菱造船所に運ぶ途中、長崎駅付近で被爆。



長崎原爆

撮影者不詳・長崎原爆資料館所蔵



3/10
亀戸で
被災

にへいはるよ
二瓶治代さんの体験
1936年（昭和11年）生

8歳のときに東京大空襲に遭い、亀戸で被災。家族とはぐれて炎の中を逃げまどい、折り重なる死体の下で一命を取り留める。奇跡的に家族と再会するも、前日まで遊んでいた多くの友人が犠牲に。



東京大空襲

浅草の仲見世あたり（1945年3月19日撮影）
提供：東京大空襲・被災資料センター

体験者の体験・思いはそのままに、伝承者それぞれが独自の感性・言葉で約35分間にまとめ、語る「伝承者講話」は、市内各所で聴講いただけます（参加費無料／途中入退場可）。

開催日時	会場	講話内容 <各回の伝承者は異なります>		
6月20日(土)	F S X ホール ホール	10時： 東京大空襲	11時： 長崎原爆	6月～9月分 申し込みフォーム
7月29日(水)	矢川プラス 多目的ルーム	14時： 広島原爆	15時： 東京大空襲	
8月6日(木)	F S X ホール 地下スタジオ	14時： 広島原爆	15時： 長崎原爆	
8月15日(土)	国立駅前くにたち・ こくぶんじ市民プラザ	13時半： 東京大空襲	14時半： 広島原爆	15時半： 長崎原爆
9月6日(日)	矢川プラス 多目的ルーム	14時： 長崎原爆	15時： 広島原爆	1月～3月分 申し込みフォーム
令和9年 1月30日(土)	国立駅前くにたち・ こくぶんじ市民プラザ	14時： 長崎原爆	15時： 東京大空襲	
令和9年 3月7日(日)	くにたち郷土文化館 講堂	14時： 東京大空襲	15時： 広島原爆	

※開催内容は、予告なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。

202604 版

【申し込み・問い合わせ先】 *派遣講話のお申し込みも受付中！

国立市 政策経営部 市長室 平和・人権・ダイバーシティ推進係
電話：042-576-2111（内線229・256）

ファクス：042-576-0264 / メール：sec_diversity@city.kunitachi.lg.jp

▼ 国立市ホームページのQRコード ▼

伝承者講話



定期講話



派遣講話

